

所 報

◆前号の訂正 117ページ参与の辞任は、大沢融を大堀弘に、農林事務次官を経済企画事務次官に訂正する。

◆昭和38年度現地調査 本年度の現地調査は、本誌9月号および11月号で既報のほか、下記のとおり実施することになった。

訪 問 国 名	氏 名	現 職	調 査 目 的	出 発 日 お よ び 帰 国 日
イ ン ド	山 口 博 一	当研究所調査研究部	「工業化における企業者層の形成と役割」に関する現地調査	未 定
インド、タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、香港、台湾	三 沢 嶽 郎	東京教育大学教授	農業に関する「アジア経済の長期展望計画」のための現地調査	未 定
パキスタン、インド、セイロン、タイ、フィリピン、台湾	宮 本 邦 男	経済企画庁経済研究所	「貿易マトリクス分析」に関する現地調査	未 定
イ ン ド	中 川 潤 一	日本輸出入銀行総務部 相談役	「インドの資本財輸入にともなう金融的側面」に関する現地調査	未 定
	山 本 雅 司	通商産業省通商局		
インド、パキスタン、セイロン、タイ	阿 部 宗 光	文部省調査局調査課専門員	「インドの人的資源と教育投資」に関する現地調査	未 定

◆海外派遣員の出発および帰国 出発——昭和38年度海外派遣員として、下記3名が任地に向け出発した。

氏 名	研 究 課 題	派 遣 地	出 発 日	派 遣 期 間
藤 森 英 男	「重要産業」発展の経営経済的基盤	マ ニ ラ	11月9日	2 年
高 橋 保	カンボジア社会・経済の近代化とその諸条件	プ ノ ン ベ ン	11月25日	2 年
吉 田 昌 夫	東アフリカ農産物販売機構と経済発展	カ ン バ ラ	12月6日	2 年

帰国——昭和36年度海外派遣員のうち、伊藤正二は任務を終了し帰国した。

氏 名	研 究 課 題	派 遣 地	帰 国 日
伊 藤 正 二	State Enterprises の 発 展	マ ド ラ ス	11月30日

◆出版案内 (11月16日～12月15日発行のもの)

田村喜照編『タイの公企業』(調査研究報告双書第47集)、南亮三郎編『マラヤ・シンガポールの人口構造』(アジア経済研究シリーズ第49集)、喜多村浩編『タイの経済開発』(同シリーズ第51集)、『ペルー-経済社会開発計画1962～1971』(研究参考資料第54集)、『麦田人民公社史』

(同資料第55集)、有馬駿二編『東南アジア諸国の物量バランス研究』(同資料第56集)、大泉悦郎編『中近東の統計事情』(同資料第57集)、西向嘉昭ほか『ラテン・アメリカの経済』(文献解題シリーズ第5集)、クロノロジー『マレーシア』(『アジアの動向』別冊、1963年8、9月号)、同『アジアの動向』(1963年10月号)